

ウパニシャッド・マントラ

第1節

世界に入る一つの火があり、それは入るさまざまな物体の形を取る。同様に、すべての存在の一つの内なる大いなる自己は、それが入るものは何であれその形を取る一方で、すべての形の外に存在し続ける。

第2節

世界に入る一つの空気があり、それは入るさまざまな物体の形を取る。同様に、すべての存在の一つの内なる大いなる自己は、それが入るものは何であれその形を取る一方で、すべての形の外に存在し続ける。

第3節

全世界の目である太陽は、その外部にある一般の人々の目の不純性に影響されない。同様に、すべての存在の一つの内なる大いなる自己は、その外部にある世界の悲しみに影響されない。

第4節

彼は支配する者であり、すべての存在の内なる大いなる自己であり、彼の一つの形を多様なものにする。彼を大いなる自己の中に座する者として悟る揺るぎない人だけが、永遠の至福を体験する。この至福は他の誰にも属さない。

第5節

大いなる自己は、一過性のものの中であって永遠であり、限界ある意識の中であって純粋な意識であり、多くの中であって一つであり、そしてすべての欲望を実現する者である。彼を大いなる自己の中に座する者として悟る揺るぎない人だけが、永遠の平和を体験する。この平和は他の誰にも属さない。

第6節

シュカは言った。おお王よ、ほとんど功德のない人々は、神の恩恵、ゴーヴィンダ神、聖なる名前、ブラーミン、またはヴァイシュナヴァを信じていない。

第7節

神は、シャイヴァイトによりシヴァとして、ヴェーダンティンによりブラフマンとして、仏教徒によりブッダとして、推論に熟練した論理学者により創造者として、ジャイナ教徒によりアルハットとして、そして儀式主義者により犠牲として、崇拝されている。三界の神であるそのハリが、あなたに望ましい果実を与えますように。

第8節

おお王よ、ヴィシュヌの名前をチャンティングする場所や時間に制限がないことは疑いの余地がない。

第9節

犠牲、慈善の贈り物、沐浴(もくよく)、またはジャパには、縁起の良い時間が必要とされるが、おお大地の神よ、ヴィシュヌの名前をチャンティングする時間に制限はない。

第10節

変わる事のない死の都は実に極めて近くに迫っている。従って、常にシヴァを思い出し、シヴァについて瞑想し、シヴァを熟考しなさい。

第11節

私はシヴァであり、これはシヴァであり、そして確実に、あなたもシヴァ以外の何者でもない。宇宙全体は絶対なる者の具現である。シヴァより高いものはない。

第12節

シヴァがすべての心の中に存在し、彼は微細なものの中で最も微細なものであり、宇宙の創造者であり、多くの形を持った者であり、そして宇宙を包み込む者であることを知る人は、無限の平和を達成する。

第13節

私は、平和で、慈悲深く、そして完璧な神を崇拝する。彼はすべてに浸透し、すべての行為者であり、すべてであり、すべてを照らす者であり、そしてすべてを支える者である。

第 14 節

創造を始める前に、シヴァを崇拝していたブラフマ神は、創造の力を得た。彼の望んだ目的を達成し、彼は心から満足した。崇拝に値し、シヴァの崇拝者となるブラフマは祝福された。

第 15 節

シャンカラは根本であり、始まりがなく、無限の形を取る。その心にシャンカラが永遠に確立されている人の家族は神聖である。彼の祖先は高められ、大地とブラーミンは浄化される。

第 16 節

シビ王は言った。どこでも人々が幸せでありますように。誰もが病気になりませんように。誰もがどこでも良いことを見ますように。誰もが悲しみに遭いませんように。

オーム。平和！ 平和！ 平和！

English rendering from *The Nectar of Chanting*.
(South Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 1983), p. 141-145.

